

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>その方の意思や能力を尊重し寄り添って穏やかに暮らせる支援を理念とし、共有している。</p>	<p>今以上に地域の中で、地域の住民の一人として暮らせる事を職員間で意識統一したい。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>日々、課題に向け努力している。</p>	<p>日々、課題を曖昧にせず、丁寧に対応したい。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議、隣近所のお付き合い、地域のボランティアさんとの交流、ご家族様への報告、連絡を通して取り組んでいる。</p>	<p>地域の行事へご家族様も一緒に参加頂けるような働きかけをしたい。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>行事に参加頂く。自家製にお野菜のやり取り等を日常的に行っている。</p>	<p>さらに交流を深めたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>利用者様の身体状況が、重度化しているため、地域の行事への参加が困難になっているが、常に情報は頂けるように努めている。</p>	<p>出来るだけ多くの情報を取り込み積極的に参加、協力をしたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>弊GH内の運営を安定させる事がまずは第1の地域貢献と考えている。</p>		<p>老人クラブの方たちが、気軽にお茶を飲みに来て頂ける場所にしたい。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>要改善項目を理解して、質の向上に取り組んでいる。</p>		<p>職員間の意識と質を同レベルにできる取り組みをしたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>現状報告、意見交換、利用者様との食事、防災訓練へ参加などを通して理解して頂き、サービスに繋げている。</p>		<p>今後も、行事に参加頂いたり、出来るだけ状況を肌で感じて頂ける内容にとりくみたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>情報収集、相談は出来るだけ市の介護高齢課に連絡するように努めている。</p>		<p>行政側からの訪問も働きかけたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は研修に参加している。</p>		<p>職員間には、浸透していないため学習の機会を作りたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>注意をしている。</p>		<p>引き続き取り組んでいく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>面談を通して行っている。</p>	<p>サービス提供の上で、重要な事であるので引き続き行う。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>話がし易い環境を常に心掛けている。事務室がリビングに隣接しており利用者様の声が届く。また、できる限りスタッフ会議で検討をできるように努めている。</p>	<p>今後も努めたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>利用者様の状況は、伝えるように努めている。定期受診や、薬の受け取りにご協力いただきながら、来所の際に報告している。</p>	<p>定期的なお便りを定着できるように努めたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見用紙を設置している。また、来所の折に話易い雰囲気にも努めている。また、ご意見はスタッフ会議時に改善に向け検討、取り組んでいる。</p>	<p>引き続き行っていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会議、個別面談はもちろん、常に話易い環境を作って対応している。また、意見を実行できるようなサポートを行っている。</p>	<p>今後も取り組み、職員一人ひとりが運営者の自覚を持てる取り組みをしたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>出来る限り、調整に努めている。</p>	<p>さらに体制を強化したい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1. 待遇改善（賃金アップ、賞与アップ） 2. 福利厚生充実 3. 研修機会の提供 等を通じ、スタッフ定着を図っている。 退職の際は、引継ぎおよび新人研修を実施。</p>	
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>1. 社内研修（階層別研修の実施） 施設長研修、リーダー研修、スタッフ向け研修を実施。 2. 社外研修（積極的支援） 社外研修の情報をスタッフへ開示し、希望者は積極的に参加させている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>1. 各種団体（福祉協議会、グループホーム協議会等）への加入、他施設からの研修受け入れを実施。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>1. 職場懇親会への補助、管理部門との面談の実施。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>1. スタッフの能力把握のため、チェックリストを作成。 2. 査定と賃金への反映。 原資がない為成果に見合うだけの賃金上昇が困難。向上心を生み出すほどの魅力となり難い点もある。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	センター方式を使い、ご家族様にも協力いただきながら、行っている。	今後も、努力したい。
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	面談の時間をしっかりとって、出来る限り意向を汲めるように努めている。	信頼関係を深めながら取組んでいく。
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	面談を通して行っている。	今後も、努めたい。
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	利用前に必ず訪問いただくようにしている。職員、他の利用者様とお茶を飲む機会を作るなどの対応をしている。	引き続き行っていく。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	生活の中で出来ることは、なるべく一緒に行うように努めている。利用者様の得意分野を把握しておき、教えていただく。	さらに、一人ひとりの個性を尊重して対応したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	行事に参加頂いたり、日常的に来所される方とは一緒にお茶や食事をして頂き、生活にも参加いただけるように働きかけている・		ご家族様の負担にならない程度に、取組んでいきたい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様に負担が掛からないように努めている。		さらに努めたい
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様以外の知人等が、気楽に来所できる雰囲気づくりに努めている。		利用者様のレベルに合わせて馴染みの場所へ出掛けられる機会も作っていきたい。
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様の性格を把握した上で、お互いに負担にならない関係づくりに努めている。		利用者様が、穏やかに過ごせる関係づくりに取り組んでいきたい。
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	葉書などでの近況報告の交流を行っている。		今後も続けたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>カンファレンスを通して、出来る限り近づけるように努力している。</p>	<p>出来る限り、本人の希望を聴けるように努めたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>センター方式を使って、ご家族の方から、前利用施設の状況等の情報収集に努めている。</p>	<p>今後も努めたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>生活歴、既往等を参考に、まずは、利用者様の現状把握に努めています。</p>	<p>正しい現状の把握に努め、過剰な介護によるレベル低下を防ぐように努力する。</p>
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>作成担当者を中心に、管理者、職員が協力し合って作っている。</p>	<p>利用者様の状況に応じた介護計画に努めて行く。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>作成担当者中心に相談しながら行っている。</p>	<p>利用者様の状況に応じた介護計画に努めて行く。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録により、状況の把握、変化を職員間で共有して統一したケアに活かせる努力をしている。		効果的な記録法、申し送り方法の検討に取り組みたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族様が、障害者であったり、高齢者の方への受診協力、入退院の送迎の協力等、出来る範囲ではあるが行っている。また、訪看との医療連携により、日常的な健康管理と緊急時に早急な対応ができる体制を確立している。		現在の体制の中で出来る限りのことは行っていきたい。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的なボランティアさんの訪問、中学生の訪問 毎年の実習 等の交流を通して支援を図っている。		さらに拡大したい。
41	他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険内での不可能なため、実際にはそれ以外に利用できるサービスを発掘出来ていない。		制度の見直しも必要と思う。
42	地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加いただくくらいの交流しかない。		取組んでいきたい。



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>在宅からのかかりつけ医との関係を最大限に利用しながら、利用者様、ご家族様が安心できる医療体制に努めている。</p>		<p>かかりつけ医の機能を活かしながら、足りない部分の強化に取り組みたい。</p>
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>ご家族様や、協力訪問看護ステーションに相談しながら行っている。</p>		<p>今後も取組んで行きたい。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>訪問看護ステーションと24Hの協力体制をとっている。</p>		<p>引き続き行う。</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>カンファレンスに参加し、退院後も安定した生活できるような情報収集、協力を求めるように努めている。</p>		<p>今後も取組んでいく。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時にはもちろん、状況の変化に応じ、其のつど話し合いを行い対応している。</p>		<p>さらに、利用者様、ご家族様ともに安心できる対応に努めたい。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度化を防ぐケア、重度化への対応は、常に重要な課題として取り組んでいる。訪看との協力体制整備もその一つ。</p>		<p>状況によって、対応は変わってくるため、状況の正しい把握に努めながら職員間が常に同じ意識を持って対応できるように取り組みたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ご家族様、他施設相談員等と情報交換や話し合いを密に行っている。</p>		<p>今後も努めたい。</p>
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>介護職の基本として取り組んでいる。記録等も事務所以外への持ち出しを禁止するなどの対策をとっている。</p>		<p>引き続き、努めたい。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>その方に合わせた自己決定が出来るように取り組んでいる。</p>		<p>認知症の方の自己決定をうまく促せるように取り組めると良い。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>行動を起こされるときは、まずご本人の意思を尊重できるように努めています。</p>		<p>職員間で、統一した対応が出来るように努めていきたい。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご家族様の協力があれば行える。現在は、ご家族様のご希望もあって出張理容を利用している。理容の希望はご本人の気持ちを優先している。</p>		<p>ご家族様と協力しながら、ご本人の意思を尊重しながら行いたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	支度や洗い物を積極的にしてくださる方には、習慣的にやっただけでいる。また、暦による行事食などを定期的に計画し、利用者様とスタッフが一緒に楽しんでいる。		さらに、利用者様の希望を重視しながら続けていきたい。
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本来ならば、行いたいところだが、利用者様の既往に応じて不可能な場合があること、服薬への影響もあり制限がある。健康管理をする義務もあるため難しい。		一人ひとりの身体状況に合わせて対応して行きたい。
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	多少の失敗にこだわらず、ご本人の羞恥心や、不快感を取り除く配慮をしながら、一人ひとりの排泄パターンを把握しながら促し、支援している。		排泄は、生活において、とても大切な行為であるため、重要課題としてとりくんでいきたい。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	限られたスタッフ体制の中のため、時間帯が固定されつつありますが、ご本人の意思を確かめた上で入っていただいています。出来るだけゆったりと入っていただけるように、努めています。		入浴拒否をされる方にも、原因を探りながら出来るだけ入浴したい・・気持ちになっていただけるような雰囲気を作る取り組みをしたい。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりのパターンに合わせた支援を行っている。寄り添いの必要な方には寄り添い、不眠の方には休めるような環境づくりに努めている。		夜間の混乱を解除できるような環境を勉強していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	編み物や、裁縫、広告を使ったごみ箱づくりなど、気の向いたときに行えるように支援している。		徐々に身体機能が低下していることも念頭に置きながら、出来るだけ持続できるような支援をしたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持を希望される方には、ご家族様の協力を得て所持いただいておりますが、ご家族様は消極的です。		認知症という障害を持っていることを理解したうえで対応していきたい。
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	現スタッフ体制の中で、安全に対応するためには日常的に行うことは難しいこと、利用者様のレベルを考えた時に気軽に行えない状態でもある。		遠出をすることが良いばかりでは無いと考えるので、テラス、広い庭、畑を上手に使うって利用者様、スタッフともに楽しめる取り組みをしたい。
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族様、親戚の方との外出は制限していない。		今後も同じです。
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話、手紙ともに希望があれば支援をしています。ご家族様への電話は番号を一緒に確認しながら、ご兄弟と葉書のやり取りを入居以来続けている方もいる。		ご本人の意思を尊重しながら支援したい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	夜間の時間以外の制限は無く自由に来ていただいている。ご本人とゆっくりお話が出来るような環境を提供している。		引き続き行いたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的には行わない方針だが、安全を確保するためやむを得ない場合は、ご家族様に確認の上せざるを得ない場合もある。		安全に配慮しながら、取組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間20時以降の安全確保以外の施錠は、基本的に行っていない。		特別な状況が発生しない限り、今後も今まで通り取り組みたい。
67	利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員間で、連携をとりながら、特に注意している。		今後も、取り組む。
68	注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご家族様と相談しながら対応している。		行っていく。
69	事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的な、訓練、カンファレンス、日常的にひやりはつとに取り組んでいる。		極力、防止したい。
70	急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的な講習、学習を行っている。		今後も、取り組む。 取り組んでいく。
71	災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	区の協力を得て区長さん始め、近隣の方たちに働きかけている。協力体制も整っている。		日常的に、コミュニケーションを図り関係づくりしながら強化したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご家族様には、常に対応している。		今後も続けたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
	体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	24H医療協力体制を整え、職員間の意識の統一も図っている。		変化や異変にいち早く気付ける洞察力を養う学習にとり組みたい。
74	服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	すべての職員が理解できるような説明書管理等を行っている。		引き続き努める。
75	便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日常的な水分摂取、食事の工夫を行っている。また、訪看と連携により便秘解消に努めている。		今後も取り組む。
76	口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に状態に応じた支援を行っている。		続けていく。
77	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士、訪看の看護師からも指導を受けながら取り組んでいる。		学習会を行ないながら、正しい知識の理解に努めながら行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	講習、研修を職員全員が受け、マニュアル、処理セットの設置を行っている。		年間計画にも、研修を取り入れ常に意識付けしていきたい。
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、使用分だけ配達、それ以外は、必要に応じてそのつど買い物に行く対応で、常に新鮮な食材の確保に努めている。		今後も注意しながら行っていく。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭と同じ玄関を意識して、清潔、安全に努めています。また、建物周りは、地主さんの協力を得て定期的な整備を行っています。		配慮していきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、行事の際の写真を張ったり、利用者様の作品を展示して生活感のあり安心できる空間作りに取り組んでいます。		さらに工夫していく。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりに合った場所や、気の合う人と一緒にいられる配慮をしている。		引き続き取り組みたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、出来るだけ自宅で使用されていた馴染みの家具等をもってき来て頂き、急激な環境の変化を作らない配慮をおこなっている。		今後も続ける。
84	換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節、換気などは健康管理の上でも大変重要な要素と考えて、出来るだけこまめに行うように努めている。		引き続き行う。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に暮らせる環境を作るため、常に整理整頓等に心掛けている。		さらに、工夫していく。
86	わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ケアプランに基づき、職員同士が意識統一を図りながら行えるよう取り組んでいる。		利用者様の今の力を持続できるような取り組みを行っていく。
87	建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	自家製の野菜作りや収穫、ベランダで日光浴をしたり、心が豊かになれる取り組みをしている。		日課にできる取り組みを行いながら、新しい活動(ベランダで寄せ植えを楽しむ等)にも挑戦したい。

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

安全に暮らせるための環境整備 (清潔、温度、湿度管理) に努めている。  
 訪看ステーションとの連携を強化して日常的な健康管理や医療知識、情報の収集に努めている。  
 毎日の食事は、栄養面、美味しく楽しく召し上がっていただけるような配慮に努めている。